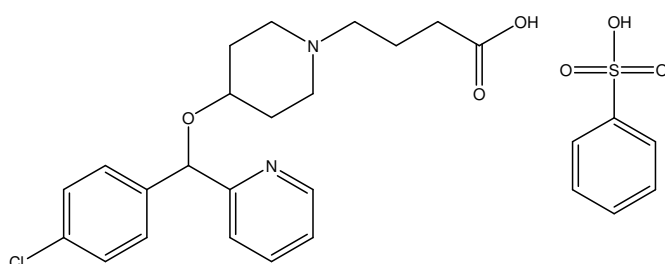


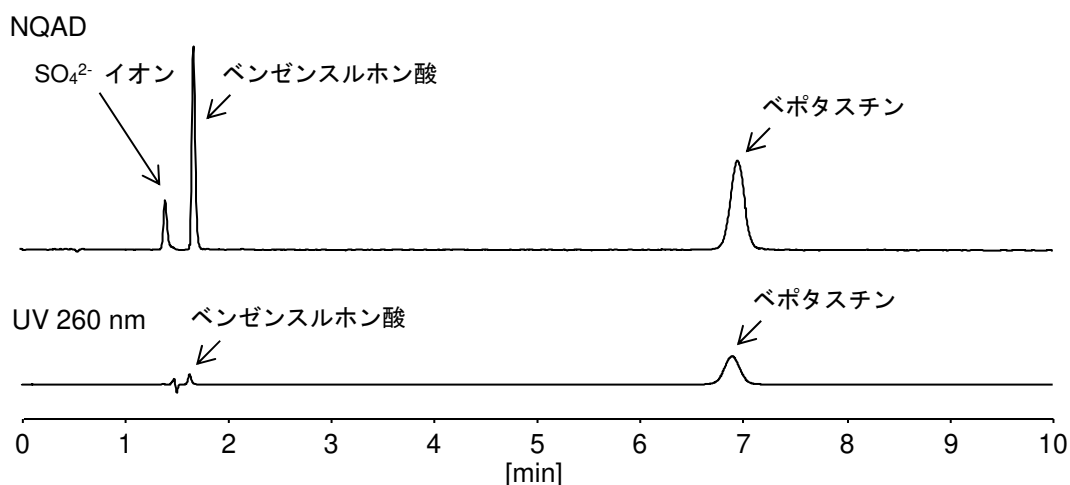
ベポタスチンベシル酸塩

Bepotastine Besilate

ヒスタミン受容体拮抗・アレルギー性疾患治療薬であるベポタスチンベシル酸塩を、カラムとして CAPCELL PAK C₁₈ MGIII S5 (4.6 mm i.d. x 150 mm) を選択し、検出器として UV と NQAD を直列につないで分析した例を示します。UV、NQAD 共にベポタスチンとそのカウンターイオンであるベンゼンスルホン酸の両ピークを検出します。またユニバーサル検出器である NQAD を用いると、両ピークに加えてベンゼンスルホン酸が分解して生成した硫酸イオンも検出できます。NQAD を用いることで、様々な化合物を物質の状態によらず同時に観測することが可能です。



ベポタスチンベシル酸塩 (40 μg/mL)
Bepotastine Besilate (M.W. 547.1)



【HPLC Conditions】

Column	: CAPCELL PAK C ₁₈ MGIII S5 ; 4.6 mm i.d. x 150 mm
Mobile phase	: 10 mmol/L HCOONH ₄ / CH ₃ OH = 50 / 50
Flow rate	: 1 mL/min
Temperature	: 40 °C
Detection	: UV 260 nm
Detector	: NQAD (Evaporation 35 °C, Nebulizer 30 °C)
Inj. vol.	: 10 μL
Sample dissolved in	: H ₂ O
	※ 1 μg/mL = 1 ppm